MJ PERFORMANCE INFORMATION

都城音楽村 Vol.6
～盆地の空にひびくオーケストラ～

2021 年 9 月 12 日（日） 開演 14：00
大ホール「きりしま」 自由席 入場無料（要整理券）

※6 月末チラシ配布予定。
※収容率 50%で開催します。

入場無料で 0 歳から入場できるフル・オーケストラのコンサート！
演奏は宮崎大学管弦楽団。誰もが聴いたことのあるクラシック曲からジブリまで、気軽に楽しめるプログラムです。

共催：都城音楽村実行委員会

－ ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊

DRUM TAO　2021 年新作舞台『光』

2021 年 9 月 15 日（水） 開演 19：00
大ホール「きりしま」 全席指定 6,500 円

※8 月 1 日（日）チケット一般販売開始。
※収容人数 50%で販売します。
※未就学児入場不可。

それでも、前へ！進む！
重なり合い、一つになる復興への願いと祈り。
希望を求め、今、TAO が奏でる「響き」の力に、心がガクガク震え出す！
力強い和太鼓の響きに弾むメロディー、圧倒的なパフォーマンス。
舞台に溢れる希望の光に、あなたは心を奪われる。
時代を突き抜ける！
“THE NIPPON エンターテイメント”

国文祭

新たな仲間を迎え、再び宝探しの旅へ

昨年 11 月 15 日にリモートでの公開稽古を終えて、しばし熟成時間を置いた「国文祭・芸文祭みやざき 2020」の取り組み。
新しい参加者とともに、「都城の宝」を探しに再び出発です。

この企画は、年齢・性別・国籍・障がいの有無など関係なく、多様な方々とダンスを通して混ざり合い、創作の時間を分かち合い、都城の魅力を発見！さらには、自分自身の魅力も発見！そして、仲間の魅力も発見！しようという、ワクワクドキドキの企画です。

お宝探検の隊長はこの人！

お宝発見の旅の隊長（総合演出）は、日本を代表するダンスカンパニーコンドルズ主宰、さいたま芸術劇場次期芸術監督。今もっとも注目されているダンサー・振付家近藤良平さんです！　近藤さんの「ダンス」は身体を動かすだけでなく、心も躍る。食べることも、歌うことも、街の佇まいまでもがダンスになります。

舞台に出るのは・・・という方でも安心♪
様々な形で舞台創作に参加できます。

造形作家の松下太紀さんの図工ワークショップ、都城のステキ風景や大好きスポットの写真、映像などなど、舞台に立つのはちょっと恥ずかしいというあなたも、舞台創作に参加できる仕掛けがたっぷりです。

随時情報を発信予定！お楽しみに♪

2021 年の MJ 事業は「つながる」がテーマです。コロナ禍の中、私たちは文化芸術を通して、大切なつながりを失うことなく、都城が未来に向かってつながるため、感染対策をしっかりと行いながら、みなさんと共に楽しい時間を創っていきます。
これから発信される、MJ 国文祭・芸文祭情報をお見逃しなく！

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第 35 回国民文化祭・みやざき 2020
第 20 回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会
分野別フェスティバル
～障がいのある人もない人も共に創るステージ～
「明日はあしたの都城」～ Tomorrow is another Miyakonojo ～

2021 年 10 月 3 日（日）開演 15：30　大ホール「きりしま」
入場料 500 円　＊チケット発売は 8 月予定

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

INTERVIEW

それでも、前へ、進む！
DRUM TAO 、3 年ぶりの都城公演！

MJ では隔年で開催し、毎回多くのお客様が来場する人気公演ですが、昨年9月に予定していた公演は中止に。この1年、困難な状況の中でも精力的に活動を続けてきた DRUM TAO の皆さん。当時の状況や今回の公演にかける想いなどを伺いました。

＊　＊　＊　＊　＊

――　コロナウイルス感染症が世界を襲った 2020 年。TAO の皆さんにとって昨年はどのような 1 年でしたか？

昨年 1 年間は本当に大変な年でした。コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、エンタメ界自体も大打撃を受ける中、私達 TAO も 3 班で 600 公演が中止になり、一時は存続自体も危ぶまれた時期がありました。海外ツアーも約半分を残して中止、東京常設劇場ロングラン公演も完全終演、国内ツアーも全てストップし、公演がない日が約 5 ヶ月間も続きました。
また、TAO メンバー内でもクラスター発生という絶体絶命の状況にも直面し、先が全く見えない状態が続きました。

――　そんな中、どのようにしてこの状況を受け止め、乗り越えてこられたのでしょうか？

このような状況の中、全国各地からたくさんの応援メッセージをいただき、本当に皆さんに支えていただきました。この状況に負けてはいけない！と決心し、何も出来ない中で自分たちがやれることを模索し、皆さんに「恩返しをしたい」、そう強く思いました。
そして、「立ち止まらずに前へ進もう」そう決めて作品作りを続けてきました。いかに私たちが皆さんに支えられているか、深く実感した 1 年でした。

――　公演を再開した時のお気持ちはいかがでしたか？

3 月から中止になった公演活動が再開したのは、7 月の愛知公演から。約 5 ヶ月後でした。幕があいた瞬間、これまで起きた出来事や想いがこみ上げてきて、言葉にならない想いでいっぱいでした。こんな状況の中でもこんなに待っていてくれる人がいる、そして楽しんでくれている、改めて舞台に立てる事の幸せを感じる事が出来ました。
応援してくださる全国の主催者の強い想いで、結果全国各地で 274 回もの公演を実施する事ができました。

――　今回の舞台作品にかける想いをお聞かせください。

テーマは、「それでも、前へ、進む！」
全身全霊で奏でる和太鼓の響きに、未来へと続く「輝き」を見出してほしいです。私達自身が前へ進み続ける事で、その事自体がみなさんの希望の「光」や、癒しの「光」になれれば良いなと思っています。
今こそ、日本の、世界の元気になる！と決意した私達ですが、今回の作品は、今だからこそ皆さんに見て、色んな事を感じとってほしい作品です。

――　公演を楽しみに待っていてくださる都城市民に向けて、一言メッセージをお願いします。

昨年の公演が悔しくも中止となり、今年 9 月にやっと帰ってくることができます！
今回で 5 回目の公演となります。今回の作品を通して、ご来場いただける方全てに全身全霊の私達の想いと元気を届けられたらと思います。是非お待ちしております！

COLUMN

想いを形に。

新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の皆さんの文化活動も大きな影響を受けましたが、それぞれに工夫を凝らし、感染症対策を徹底したうえで、活動を再開させています。
長年にわたり、MJ を会場として演劇公演を主催されている都城市民劇場 事務局長 三田八正さんにお話を伺いました。

＊　＊　＊　＊　＊

市民劇場は、昨年 6・7 月の公演は中止を余儀なくされましたが、その後 10 月からは予定していた公演を全て実施しています。全公演を中止にするという選択肢もありましたが、劇団側の「芝居をしたい！」という気持ちと、会員の「芝居を観たい！」という声がある限り、その想いを大事にし継続していこうと決めました。
運営する中で感じたのは、正しい情報を得ることの重要性です。劇団が県外からくるという理由だけで「開催は出来ないのでは？」という声が挙がったこともありました。しかしコロナ禍ではイベントが開催できないということではありません。政府のガイドラインをしっかり確認し、ホール側と情報を共有しながら、開催できる方法を必死で探し、万全の体制を整えたうえで公演を実施しています。
2021 年 4 月で、都城市民劇場は設立 24 年目を迎えました。大好きなお芝居を観られる環境を会員と劇団のみんなで創っていきたい。そういった想いが、市民劇場の例会には込められています。

◀2 月に開催した例会の様子
運営スタッフや劇団員など、お芝居に関わるすべての関係者がマスクやフェイスシールドの着用、検温、手指の消毒などの感染症対策を徹底しています。
また、公演日前後の健康管理も行っています。

◎ 次回例会は 2021 年 8 月 3 日を予定。
【上演作品】こまつ座「母と暮らせば」